

ボード1：プログラミングってなんだろう？

➡初めはパネル使わずに挨拶

「みなさん、こんにちはー！」

「あれあれ？ 声が小さくない？ もう一度大きな声で……みなさん、こんにちはー！」

「はい、ありがとうございます♪」

「今日はみなさんに、ゼンマイで動くロボット『歩く！ゼンマイロボ』を作ってもらいます」

サンプル見せる

「『ゼンマイロボ』はただの工作じゃありません。作るだけじゃなくって、なんと！

遊ぶだけで『プログラミング』と一緒に学ぶことができます！」

「『プログラミング』という言葉聞いたことがある人、手を挙げてー？」

「はい、みんなありがとう♪」

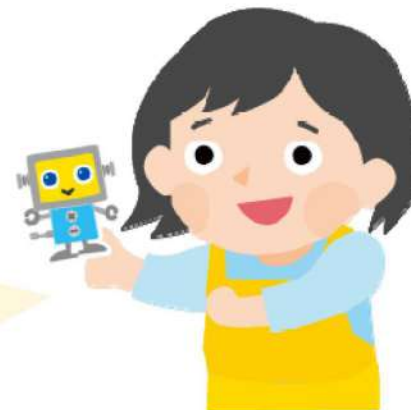
「幼稚園の子はまだけど、小学生の子は、これから聞くことが増えるワードだと思います。

というのも、小学校では『プログラミング学習』が、授業に組み込まれ始めているからです」

「なので、今日はぜひ『プログラミング』という言葉も覚えて帰って下さいね！」

「それでは、『プログラミング』をより知ってもらうために、簡単な紙芝居を用意しましたのでご覧ください」

親御さんの方をみる



➡パネル1へ

「プログラミングは、ロボットと人間が分かりあうための言葉です！」

「人間同士は“言葉”でお話することができるけど、

ロボットとは、“プログラミング”っていうお願いを伝えることで仲良くすることができます。」

➡次のページへ

★ ポイント

【初めのあいさつで元気よく！会場を温めましょう】

会場の雰囲気を温めるためにも、初めのあいさつは元気よくしましょう。

時間に余裕があれば、お父さんやお母さんに向けても「お父さんお母さんも一緒に『こんにちはー！』」など話して、全体を巻き込んで盛り上げましょう。

また、できれば【話し手の声が聞こえているのか】を確認したり、話す時もゆっくり話し、【子どもたちの目を見て】話しましょう。



ボード2：身近にあるものはどんなもの？

「たくさんプログラミングをすることによって『機械』は動いています。

じゃあ実際にプログラミングで動いていて、みんなの生活に使われているものは、どんなものがあるかな？」

「この絵にはクルマとかいろいろあるね」

「ほかには何があるかな？」

「じゃあほかには??」

「みんな答えてくれてありがとう！答えてくれた子たちに大きな拍手を！（パチパチ）」

「はい、こんな感じで、みんなの周りには、たくさんプログラミングがあることに気が付いたね！」



→次のページへ

株式会社ピコトン

★ ポイント

【子供たちとのやりとりを重視しましょう】

基本2回以上、時間に余裕があれば4回、ランダムにいろんな子へ当てて話させてあげましょう。
もし、話した内容が違った場合も**絶対に否定をしないでください。**

「うん、そうだね！もしかしたら…そうなのかもしれない!？」など一度受け止めてあげましょう。

もし、子供たちが手を挙げなかったら、ヒントを出したり、
「じゃあそこのお父さん！」などお父さんお母さんへ振って話しかけてみましょう！

ボード3：プログラミングの大事なこと

「それでは最後に、プログラミングで大切なことが『3つ』あります」

「まずは、とりあえず『やってみる』こと。挑戦することが大事です！」

「つぎに、いっぱい、『失敗する』こと」

「お姉さん（お兄さん）も、いま失敗したらどうしようって思ってます！笑」

「でもね。失敗することって、とても大切なことなんです。失敗には、つぎにがんばるためのヒントがたくさん隠れています！」

「失敗した時に『つぎは成功させたい！』って思うよね？ そうしたら、考えたことをまたやってみる。失敗して、また考える」

「これをたくさん繰り返すことによって、とっても良いものができるんです！」

「『やってみる』『失敗する』『考える』、実はこの3つがプログラミングで大切なことなんです。

かっこいい言葉だと『トライ アンド エラー』って言うんですよ」

「さて最後になりますが、今日ロボットを作った後に『おうちで遊べるプログラミングすごろくシート』を渡します！

遊び方はシートに書いてあるので、ぜひ遊んでください。シートの裏には『なぜプログラミングが大切なのか？』など

さっきお話した内容も載っています。ぜひ、おうちでお父さんお母さんと一緒に読んでみてください！」

「今日お話した『プログラミング』という言葉と、プログラミングの考え方3つ！

『1.やってみる』『2.失敗する』『3.考える』の言葉3つをぜひ覚えて帰ってね」

「それでは、自分だけのゼンマイロボを作って、たくさん遊んで、たくさんプログラミングを学んでください！」



持ち帰りシートを見せる
親御さんの方をみる

手で3をみせる、
その後パネルで指差し



★ ポイント

【大事なことを覚えて帰ってもらいましょう】

いろんな話をしているので、最後に大切なことを再度振り返って、プログラミングの大切なことを伝えてあげましょう。

またおうちでも学びながら遊べるシートのことも忘れずに紹介してあげてください。